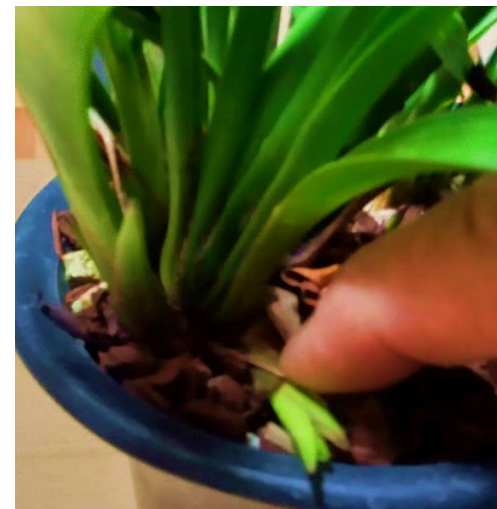


# 咲き終わった金陵辺の管理(20200530 中西良幸)

No	内 容	備 考
1	花の咲き終わった茎は必要ないので切る。	清潔なハサミで切る
2	植え替えない株は表面のごみを取って棚に乗せて蘭用肥料をやる。	棚は50cm以上で風通しをよくする。
3	肥料 蘭用肥料をやる。エコロング、化成肥料、発酵油粕等油粕を発酵させたものは優れるがめっちゃめっちゃ臭い	ハイポネックス等の液肥3000倍位をときおり与える。
4	直射日光の遮光 葉が焼けるので市松模様の寒冷紗での30～50%遮光する。 近年8月9月が暑く、遮光を強く(遮光率を上げる)	遮光材はシルバーのダイオ化成品
5	水やり 夕刻の水やりも多くし株や周りの温度を下げる。 植え替え 水が下に抜けない程根詰まりしている場合は植え替えが必要です	植え替え、鉢増し、株分けが必要です。 そのときハサミ、鉢、植え込み材料等は新しい物を使う。(病気感染防止)
6	新芽欠き この時期は新葉芽がバルブ周りに多く出るので <b>残す葉芽を決め</b> それ以外の葉芽は芽欠きをする。(やり方は2ヶ月/一回秋まで指で折る)	1バルブ当たり新葉芽を1～2芽を残す。 バルブを大きくし花芽をつきやすくする。

風通し良くしたり猛暑対策が必要。植え替え、鉢増し、株分けのタイミングは花が終わり、新葉芽が1～2cmの大きさになったときがよい。来年の花はこの新葉芽にかかっている。

# 芽欠き管理手順(写真)



これで肥料と1回/3日の水やりで来年も大きな金陵辺が咲きます